

乗下船の流れと船内生活

ワンポイントアドバイス

快適なクルーズをお送りいただくため、乗船から下船までの流れと以下の項目をご確認ください。

ご乗船にあたって

乗船受付

乗船券を係員にご提示ください(海外クルーズの場合はパスポート、必要に応じた各国の出入国書類を添えて)。乗船証(お部屋の鍵)をお渡します。



POINT

乗船証(お部屋の鍵)

客室とセルフサービスランドリーの鍵を兼ねていますので常にご携帯ください。乗下船の際の身分証明書となるほか、船内でのお買物や有料サービスがサインだけで済ませられるキャッシュレスカードにもなります。



税関・出入国審査(海外クルーズの場合)

海外クルーズでは、出入国手続きが必要です。出国審査後のお客様のパスポートは本船パーサーがお預かりします。なお寄港地での出入国の手続きについては別途船内でご案内いたします。
※外国製品をお持ちの方は税関に申告してください。

乗船

◆乗船証は必ずご携帯ください
客室のドアは、閉めると自動的に鍵がかかります。客室を出る際にはお部屋の鍵を兼ねている乗船証を必ずご携帯ください。



※ドアにかざすと開きます。

◆お荷物・貴重品の保管
客室に届いている荷物が、ご自身のものであるかをお確かめください。客室内にはセーフティボックスが備え付けられております。手荷物や現金・貴重品はご自身で管理をお願いします。

◆お見送りの方へのお願い
お見送り、お出迎えの方は、規則により船内へお入りいただくことはできません。

ATTENTION 手回り品に対する賠償責任

当社旅客運送約款により金・銀・その他貴金属又は貨幣・有価証券(各種プリペイドカードを含む)・宝石類・美術品・骨董品・毛皮その他の高価品はお引き受けいたしかねます(第13条の5)。また壊れ物・生ものもお取り扱いできません。当社のお客様の手回り品の損害に対する賠償責任は、1人あたり、1航海あたり15万円を超えないものとなっております(第13条の6)。なお、以下の破損等については免責とさせていただきますので、予めご了承ください。

- 過重量・過容量による手荷物破損
- 老朽化など手荷物固有の不具合に起因した破損
- キャスター・ストラップ・フック・名札・ベルト等突起した付属品の欠損
- お荷物をお運ぶる過程で通常の取り扱いにより生じた軽微な破損(擦り傷・切り傷・へこみ・汚れ)

※宅急便の運送にはヤマト運輸の運送約款が適用されます。

船内では

ご不明な点はレセプションへ

5デッキ中央のレセプションは船とお客様とをつなぐ大切な窓口。クルーズ中ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください(24時間オープン)。

船内新聞『アスカデイリー』など

『アスカデイリー』は、お食事やドレスコード(服装指定)、イベントなど、クルーズ中のスケジュールをご案内する日刊の船内新聞です。毎日客室へお届けします。また、客室に備え付けの『飛鳥IIガイド』には、船内生活の情報が記載されていますので、ご一読ください。



<飛鳥IIガイドの主な記載内容>

- 船内施設のご案内
- テレフォンガイド
- 客室のご案内
- 非常時の対応 など

寄港地での上陸・帰船確認

寄港地での上陸には、乗船証(お部屋の鍵)を忘れずにお持ちください。舷門(船の出入口)では、乗船証をコンピューターにかざして「上陸確認」「帰船確認」を行います。帰船時にはお手回り品の検査も行います。上陸の際には、当日の『アスカデイリー』や舷門に設置される案内板で、最終帰船時刻と出港時刻をお確かめください。定刻に出港しますので、最終帰船時刻までに必ずご帰船ください。



お支払いは現金かクレジットカードで

下船当日に客室までご請求書をお届けしますので内容をご確認ください。現金またはクレジットカードでお支払いいただけます。ご精算にクレジットカードをご利用の場合、下船の前日までにレセプションで登録(サイン)をお済ませください。下船当日の精算にお越しいただく必要がなく大変便利です(エクスプレスチェックアウト)。

※船内では、日本円・米ドルの現金およびトラベラースチェックがご利用いただけます。

ご利用いただけるクレジットカード



※上記カード会社と提携の各カードもご利用いただけます。
※予めカードの限度額や有効期限をご確認ください。

寄港地での訪船について

各寄港地で飛鳥IIにご友人などを招くには、別途手続きが必要となりますので、乗船後お早めにレセプション(5デッキ)までお申し出ください。

ATTENTION

訪船について

- ※国内クルーズでは寄港日の前日まで、海外クルーズでは原則として3日前までにお申し出ください。
- ※乗下船当日の訪船はお受けできません。
- ※錨泊する港での訪船はお受けできません。
- ※海外の寄港地では保安上、訪船を受け付けない港や当日手続に時間を要する港もございます。
- ※訪船される方は写真付き身分証明書(海外寄港地ではパスポート)をお持ちください。

下船

乗船証を舷門のコンピューターにかざして下船してください。